



錦中だより

第 3 号

令和 7 年 5 月 28 日

守口市立錦中学校

校長 寺本 毅

学校教育目標：自己を含めた、全てのものの生命を尊重する人間の育成

土曜参観・錦防災フォーラムを実施しました（5月24日）

あいにくの雨模様でしたが、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、土曜参観・錦防災フォーラムを実施することができました。本当にありがとうございました。錦小学校も土曜参観でしたので、両方にご参加いただいた保護者の方も多かったのではないかと思います。



1・3年生は2・3時間目を土曜参観として実施しました。今回は、PTAのご協力を得て、正門と裏門にシルバー人材センターの方に受付を務めていただきました。人手が限られる中で、非常にありがたかったと思っています。

昨年度も11月に、現3年の46期生が消防署のご協力を得て防災実習を行いました。今年も、守口消防署・守口市地域福祉課・守口市赤十字奉仕団・守口市危機管理室・錦地区防犯委員会・錦地域コミュニティ協議会と協力してくださる機関を増やし、また、守口市教育委員会の学校提案型人材育成事業として実施できました。関係機関の皆様、本当にありがとうございました。



2年生の防災実習は、最初に消防署の方からお話を聞き、その後、6つのブースを順番に回るかたちで行いました（①マンホールトイレ設置体験・②炊き出し訓練・③水消火器体験・④傷病人搬送訓練・⑤心肺蘇生法訓練・⑥AED操作体験）。消防署の方からは、目の前で苦しんでいる人がいたら、一歩を踏み出し、自分の家族と同じように助ける勇気をもってほしい、そのため真剣に学んでほしいとお話をいただきました。以下、生徒の感想を紹介します。



① マンホールトイレ設置体験：ふたの開閉、水の流し方を体験：「学校に非常用トイレがあるなんて知らなかった」「トイレは必要なので絶対覚えておこうと思った」「使い方を知れてよかった。水の出るところもわかり困ることはないと思った」「ふ

たを開けるのが大変で使うとき開けるのを手伝おうと思った」。

② 炊き出し訓練：50食×8箱、400人分の山菜おこわの調理を体験：「混ぜるのが大変だった」「いい匂いがして美味しそう」「本当に災害が起こったらもっとたくさんの炊き出しをしなければいけない」「お湯だけでできてすごい」「待つ側ではなくご飯を届ける側になったことを実感できた」「米に種類があってちゃ



んと保存されていたり美味しくなるように出汁が入っていたり、人が生活するための工夫がしてあって興味深かった」。

③ 水消火器訓練：訓練用の消火器（中身は水）を使って火元に見立てた的に当てる訓練：「火事になったときにすぐ使えると思った」「本当なら焦って何もできなくなるかも」「火事だとしっかり周りに知らせよう頑張りたい」「いざとなったときに迷わないように学んだことを忘れないようにしたい」「消防士さんが色々な質問に答えてくれてわかりやすかった」。



④ 傷病人搬送訓練：毛布たんか等を使った傷病人搬送とのどに物を詰ませたときの応急手当を体験：「覚えておいて損はない」「いざというときの対応を学べたので実践しようと思った」「災害のときだけではなく遊びでケガしたときとかにも使える」「ハイムリック法とか簡易担架の作り方を学び実際にやって楽しかった」「最初落ちそうで怖かったけどみんなの力で持ち上がってとてもよい経験になった」。



⑤ 心肺蘇生法訓練：胸骨圧迫訓練機器を使い、救急車到着までの心臓マッサージを体験：「力が必要ですごく疲れた」「ドラマで見たことがあったけど実際にやってみてすごかった」「人の命を救えるかどうかの場面で使える学習ができてひとつ大人になったのかと感じた」「もっと楽しかった」。

⑥ AED実習：訓練用AEDで使い方を体験：「機械が順序を説明してくれるので焦らずできた」「AEDの場所を覚えてできるだけ早く持ってこられるようにしたい」「人の命にかかわることなので真剣に学べてよかった」「身の回りで何かあったときには活用したいと思った」。



4時間目は、国際的な防災研究の第一人者である関西大学特別任命教授の河田恵昭先生に、全学年生徒と地域・保護者の希望者に防災講話をしていただきました。河田先生は、災害が起こったらどうなるのかを正しく想定し、被害をできるだけ小さくすることが大切で、錦中生にいのちを守るための心構え・方法について熱く語っていただきました。南海トラフ巨大地震が起きれば交通機関はすべて止まる、地震発生2時間後から6時間にわたり津波が押し寄せるため梅田の地下街なども水没す

る、電話などもすべて使えなくなるので日常的に行先等を家族で共有しておく必要がある、津波警報が発令されていれば必ず逃げる必要がある、高層階だと止めてある家具でも動いてしまう…。貴重なお話を受け止め、命を守っていきたいと思います。河田先生本当にありがとうございました。